

泌尿器科がおすすめする初期臨床研修プラン

泌尿器科を志望する研修医には、1年目は内科や救急科など医師としての礎となる分野に加えて、麻酔科での研修を通して泌尿器科手術の麻酔管理について研修を受けていただきたいです。また2年目は、産婦人科や小児科など泌尿器科と密接に関連する科での研修を最低でも4週間受けていただいたうえで、泌尿器科で可能であれば6ヶ月以上の研修を受けていただき、3年目以降に泌尿器科の後期研修医として責任をもって実際に働くための学問的、臨床的な基礎を構築していただきたいと考えています。

各施設による泌尿器科の初期臨床研修の内容としては、大学病院においては上級医の数が多いため日々の臨床やカンファレンスを通して様々な考え方を学ぶことが可能であり、考えることや勉強することの重要性を実感して頂き、その後臨床で立ち回るための基盤をつくるのが可能です。大学病院で初期臨床研修を受けていただいた場合はこの基盤づくりが出来るため、後期研修1年目ですぐに関連病院での研修を受けることも十分に可能です。一方関連病院における研修においてはより実践的な形で泌尿器科を実感していただけます。初期臨床研修医でも執刀可能な手術が豊富なことも泌尿器科の特徴のひとつであり、上級医と共に実際の臨床の場で研修を受けていただけます。ただし、初期研修を関連病院で行った場合、泌尿器科学をよく勉強して頂くために後期研修1年目は大学病院での研修となる可能性が高いです。

1. 研修病院の選択

A・Bコース

協力型研修病院のうち下記の教育関連施設を選択していただくと大学教室とつながりを持ちやすいです。

いずれも2～6名の泌尿器科医を派遣しております。

Cコース

下記の協力型研修病院で短期研修が可能です。

泌尿器科の教育関連施設			
協力型研修病院	函館五稜郭病院	王子総合病院	旭川赤十字病院
(たすきがけ病院)	製鉄記念室蘭病院	砂川市立病院	市立室蘭総合病院
	滝川市立病院	NTT 東日本札幌病院	JCHO 北海道病院
	済生会小樽病院	帯広協会病院	釧路赤十字病院

2. 泌尿器科医になるために研修が望ましい診療科

泌尿器科領域と扱う臓器が近く合同手術をすることも多い産婦人科や消化器外科での研修や、泌尿器科専門医の知識として必須な小児泌尿器科への入り口としての小児科研修、泌尿器科手術の麻酔管理を覚えていただくための麻酔科研修、そして結石性腎盂腎炎や尿路性器外傷など泌尿器科救急を学んでいただくために救急科での研修を行うことをお勧めします。

3. コース選択

Aコース：大学病院から研修を開始するコース

1年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (循環器)		必修 内科 (呼吸器)		必修 救急		必修・選択 外科		必修 救急 (麻酔科)	選択 麻酔科	
2年次 協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 産婦人科	必修 小児科	必修 精神科	必修 地域医療	選択 泌尿器科								

Bコース：市中病院から研修を開始するコース

1年次 協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (循環器)		必修 内科 (呼吸器)		必修 救急		必修・選択 外科		必修 救急 (麻酔科)	選択 麻酔科	
2年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 産婦人科	必修 小児科	必修 精神科	必修 地域医療	選択 泌尿器科								

Cコース：大学中心に研修したいとき

1年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (循環器)		必修 内科 (呼吸器)		必修 救急		必修・選択 外科		必修 救急 (麻酔科)	選択 麻酔科	
2年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 産婦人科	必修 小児科	必修 精神科	必修 地域医療	選択 泌尿器科								